

## 質問回答

NO.	質問	回答
1	<p>・ 提案書の書式等について</p> <p>提案書について、項目ごとにA4版1枚、2枚等の指示があるが、縦使い、横使いについては自由か。また、A4版1枚の両面に書き込んでも良いか、表面だけか。</p>	縦横は不問です。またA4版1枚については表面のみの記載をお願いします。
2	<p>仕様書 2. (1)(ア)有識者候補や 4. 2. (1)、(2)業務従事者に関する記載については枚数等の指示がないが、必要に応じて数枚に渡っても良いか。</p>	ご認識のとおりです。
3	<p>・ 仕様書 2 (1) (ア) について</p> <p>高齢者に対して行うヒアリングやアンケート等の事前調査は、インターネットによるオンラインで実施するものでも良いのか、オンラインではなく対面でのヒアリング、訪問もしくは郵送によるアンケート等でなくては行けないか。</p>	事前調査の方法（オンライン・対面・訪問・郵送等）については問いません。
4	<p>・ 仕様書 2 (1) (ア) について</p> <p>普及啓発資料とその活用法を複数提案とのことだが、普及啓発資料は同一のもので活用法が異なるもの、もしくは異なる普及啓発資料で活用法が同一のものは各々1案として提出することで良いか。それともそれらは1案として扱い、普及啓発資料と活用法の両方とも異なるものを別案として提案することが必要か。</p>	効果検証を行うため、比較できる対照群を設定することが可能であれば、各々を1案としてカウントします。
5	<p>・ 仕様書 2 (1) (ア) について</p> <p>オンラインヒアリングを行う行動経済学「等」の外部の有識者は、あくまで行動経済学やナッジに関する有識者であることが必要か。それともより効果的な広報・普及啓発の方策立案に有益なヒアリングとなることを主眼とし、その観点で候補者を提案することで良いか</p>	ナッジを取り入れた普及啓発を目的としていることから、行動経済学やナッジに関する有識者であることが望ましい。
6	<p>③仕様書2.(2)留意点①について</p> <p>明示するロジックモデルにおいて、エンドポイントは真のエンドポイントでなければならないか、代用エンドポイントでも可なのか</p>	代用エンドポイントでも可とするが、真のエンドポイントが望ましい。また、参考として日本版ナッジ・ユニットBEST（事務局：環境省）で議論した内容を取りまとめた報告書「ナッジとEBPM～環境省ナッジ事業を題材とした実践から好循環へ～」を参照願います。 URL： <a href="https://www.env.go.jp/press/109068.html">https://www.env.go.jp/press/109068.html</a>
7	<p>③仕様書2.(2)留意点①について</p> <p>またエンドポイントについては、複数のエンドポイントとその中に主要エンドポイントがあるという意見もあるが、今回エンドポイントは想定される全てを列挙する必要があるか、最重視するエンドポイントだけで良いか</p>	最重要視するエンドポイントでも可とするが、できる限り列挙される方が望ましい。また、参考として日本版ナッジ・ユニットBEST（事務局：環境省）で議論した内容を取りまとめた報告書「ナッジとEBPM～環境省ナッジ事業を題材とした実践から好循環へ～」を参照願います。 URL： <a href="https://www.env.go.jp/press/109068.html">https://www.env.go.jp/press/109068.html</a>
8	<p>④提案書4. 2. (2) 業務従事者についての記述</p> <p>主たる担当者以外であって本業務に従事する者は、4.1. 実施体制に記載した者について、外部の協力者や補助的要員含めて、全員について記載する必要があるか。補助的要員については除いても良いか</p>	主たる従事者のみの記載で本業務を実施可能であると、こちらが判断できるように記載ください。 なお、主たる従事者のみの記載では不足が生じるという場合には補助従事者についても記載ください。